

—総括表—

◆ 事業計画

☐ 地域の現状と今後の方向性

杉田地区は海側の工業地、低地の市街地、丘の上に形成された住宅地に大きく区分されます。3つの鉄道駅を中心に昔ながらの商店街や商業施設が集まり賑わいのあるまちですが、丘の上の住宅地等では移動や外出に課題を持つ高齢者の方も多くいるため、住民同士の互助を支援していきます。また、健民祭等の多世代交流行事、健康づくり活動などが盛んである一方、老人会や子供会の運営継続等に課題もあります。

第4期磯子区地域福祉保健計画をもとに、子どもから高齢者、外国にルーツを持つ方、障害のある方や病気などにかかわらず、誰もがお互いを気にかけてながら住み慣れた地域で安心して住み続けられる街づくりに取り組みます。令和6年度には杉田が子どもたちのふるさとになるようあいさつ運動などを実施しました。令和7年度も引き続き子ども・子育てを推進テーマとし、自治会町内会や団体の垣根を越えて地域全体で子育てを支援していくと共に、第5期磯子区地域福祉保健計画の策定を進めていきます。

☐ 今年度の重点的な取組

新規	継続	—具体的な取組内容—	
		☐	☒
☐	☒	成年後見制度の利用や相談が増えており、制度利用が必要な方を早い段階から支援できるようにしていく。またサービス事業所や地域住民への制度の普及啓発を行い、早い段階で相談していただけるようにしていく。	
☐	☒	「高齢になっても自分の足で歩き続けられる体づくり」を目指し、フレイル予防を推進する地域の皆様と共に周知・啓発を進めて行きます。	
☒	☐	スイッチON杉田地区計画の推進および5期計画の策定について、地域での取り組みを、地域住民の皆さんが主体的かつ具体的に検討できるような体制づくりを行う。	
☒	☐	杉田地区の地域活動についてまとめた情報ガイドを作成し、関係機関や地域団体と共有連携した情報発信をおこないます。	
☐	☐		

◆ 事業報告・事業実績評価

☐ 振り返り

【成年後見制度の普及啓発】
総合相談支援の場や地域活動等を通して、成年後見制度が必要な方を早期に発見し、早い段階から制度に繋げることができるよう支援をおこないました。

【フレイル予防の普及啓発】
フレイル予防に資する介護予防事業の参加者は12月末時点で述べ92名。要支援から要介護1の心身機能が低下したフレイルの方も参加しています。また、フレイル予防サポーターと協働することで、安全な見守り、定期的な参加率の向上に繋がりました。

【スイッチON杉田地区計画の推進および第5期計画策定】
スイッチON杉田地区推進委員会事務局に参加し、地域が主体となって5期計画の策定ができるように支援をおこないました。また、地区別計画の推進では、昨年度に引き続きあいさつの取り組みとしてあいさつマスタースタンプラリーの実施に向けた支援をおこないました。

【地域活動の情報発信】
地域活動をまとめた情報ガイドの作成に向けてパイロット版を作成しました。今後は一般公開に向けて紙面のブラッシュアップを進めていきます。

☐ 区からのコメント

スイッチON第4期計画推進については昨年度できたあいさつ部会の取り組みにおいての丁寧な後方支援により、地区全体の達成感につながりました。また、4期計画推進で地域と共に積み上げてきたものを第5期計画という形で次に繋げて頂いたことに感謝しています。引き続き第5期計画の地区別計画の推進についても、後方支援をよろしくお願い致します。

弥生ヶ丘の「健康体操の会」や東部地区の集いの場に対する後方支援を通じ、地域活動の立ち上げや居場所づくりが着実に進展しています。フレイル予防サポーターの活躍をはじめ、担い手育成と活動の場の形成も広がっています。また、民生委員・郵便局・中学生を含む認知症サポーター養成講座の裾野が広がり、地域全体での理解促進にも寄与しています。医療講座の開催では、心不全とフレイル予防をテーマに、幅広い職種への参画を促し、効果的に在宅医療・介護連携が推進されています。坪倉地区アンケートの分析を基にした今後の取組検討も含め、誰もが無理なく参加し継続できる仕組みづくりが一層進んでいくことを期待しています。